月　日 名前　　／100点

【小4】国語 文章問題　説明文 1

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

えんぴつを一本、手に取ってみましょう。多くのえんぴつは、横から見ると角が六つある形をしています。丸いえんぴつもありますが、店にならんでいるのは、この六角形のものがほとんどです。どうして、このような形になっているのでしょうか。

一つ目のわけは、転がりにくいことです。丸いえんぴつをつくえの上におくと、少しかたむいただけで、ころころと転がって、ゆかに落ちてしまいます。角のあるえんぴつは、平らな面がつくえにぴたりとつくので、そこで止まります。

二つ目のわけは、持ちやすいことです。えんぴつを持つとき、わたしたちは親指、人さし指、中指の三本の指でささえています。六角形なら、三本の指がそれぞれ平らな面に当たり、指の力がえんぴつにしっかりつたわります。だから、長い時間書いても、指がすべりにくいのです。

では、角が三つや四つではいけないのでしょうか。角が少ないと、とがったところが指に当たって、いたくなってしまいます。角が多くなるほど丸に近づき、今度は転がりやすくなります。六角形は、転がりにくさと持ちやすさの、ちょうどよいところにあるのです。

ふだん何気なく使っている道具にも、使う人のことを考えたくふうがかくれています。身の回りの道具の形を、一度ゆっくりながめてみましょう。

（この問題のための書き下ろし）

問一　えんぴつが六角形になっている一つ目のわけは何ですか。本文から十字までで書きぬきましょう。

問二　「指の力がえんぴつにしっかりつたわります」とありますが、それはなぜですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　えんぴつの角がとがっていて、指に当たるから。
イ　三本の指が、それぞれ平らな面に当たるから。
ウ　六角形のえんぴつは、丸いえんぴつより長いから。

問三　角が三つや四つのえんぴつと、角がとても多いえんぴつには、それぞれどんなよくない点がありますか。四十字までで書きましょう。

問四　この文章の書き方として、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　六角形のえんぴつを作った人の話を、時間の順に書いている。
イ　丸いえんぴつのほうがよいことを、例を挙げて書いている。
ウ　はじめに問いを出し、わけを二つ説明してから、まとめを書いている。